

◎ 【国語部門】

1 行事及び内容

(1)研究委員会

①第一回研究委員会：5月29日（木）

- ・事業計画 ・文集「あまくさ」第四十八集の編集方針と募集要項の検討

②第二回研究委員会：2月19日（木）予定

- ・国語部門年間反省 ・次年度へ向けて

※国語部門研究会の再編に向けての打合せ、部会規約の検討

研究会の日程と準備打合せ：7月22日（火）

※小学校県文集「ゆめ」審査会：10月18日（土）

※県小国研事前検討会 授業者：本渡南小 田中麻衣教諭（12月中に3回実施）

①第一回文集「あまくさ」編集委員会：12月25日（木）

- ・編集までの日程と審査基準の確認および審査 ※学校図書館教育部門と合同

②第二回文集「あまくさ」編集委員会：1月6日（火）

- ・審査反省および入賞者名簿の作成

③第三回文集「あまくさ」編集委員会：1月26日（月）予定

- ・第四十八集の校正と編集の反省

(2)本年度の研究について

国語部門所属の先生方へアンケート調査を実施した。小中学校それぞれの先生方の共通の課題として、「読むこと」の領域において指導が難しいと感じていることや単元を貫く言語活動・発問に関してもっと学びたいと考えていることが明らかとなった。このアンケートの結果から研究テーマを「豊かに言語活動をいとなむ学習者の育成～単元を貫く言語活動の設定と発問の工夫を通して～」と設定した。研究の手がかりを得るため、8月8日（金）に天草教育会館で以下の内容で国語部門の研究会を実施した。

内容 模擬授業(詩の読みとり)と講演

演題・講師

演 題：「脳に汗をかく国語の授業」

講 師：熊大附属中 田上貴昭 教諭

参加者：小学校 41 名 中学校 26 名



2 成果と課題

本年度は教育研究所の部会再編に伴って国語部会の組織編成・規約設定を行うことになった。国語部門所属の先生方の協力により組織・規約とも無事に編成を進めることができた。小中学校が連携して授業作りに取り組むことの基本的な体制ができあがった。また、田上先生の模擬授業と講演から、国語は保健体育と同様、「(言語)技術を知識として知っているだけでなく、できる・使えるようになることが大切であること」など多くの示唆を得ることもできた。研究の対象領域を「読むこと」の領域にしばったが、言語技術・単元を貫く言語活動・発問・小中連携など取り組むべきことは多い。本年度の研究・反省を生かし、来年度の郡市の大会をよりよいものにしていきたい。



最後に文集「あまくさ」第48集は学校図書館部門との合同審査を経て無事発行することができた。今年度は、国語部門所属の多くの先生方に協力していただき、1日で審査を終えることができた。話し合いながら審査をすることで、よりよい審査ができたのではないかと感じている。また、小学校県文集「ゆめ」の審査も多くの先生方の協力により、スムーズな審査ができた。中学校の先生方にも協力していただき、連携した取り組みになったことも成果の1つだと考えている。次年度も高いレベルを保ちつつ、多くの作品が寄せられることを願っている。

